

◆2011年度の講座の概要(抜粋)

※2012年度の講座は、2011年度を下敷きにして、さらに充実をはかる予定です。(講師の顔ぶれと講座の内容が2011年度から変更になることがあります。ご留意下さい)

◎鈴木聡の講座

- ・最初の授業で、講座の年間予定と全体方針を説明
 - ・僕の書き方(スタイル、スタンス)
 - テレビドラマとの違い
 - 「普通の人」について
 - 何を元を書くか
 - ・自作『ハズバンド&ワイブズ』を語る(事前に観劇会を実施)
 - 震災と「喜劇」について
 - 被災地ではなく東京にいるということ
- など

◎土田英生の講座

- ・何を書くか?
 - ・セリフをどう書くか?
 - 短くて、かつ、状況を的確に観客に伝えるセリフを書く実習
- など

◎横内謙介の講座

- ・井上ひさしの作品から学ぶべきもの
 - 対立する側の視点について
 - ・シェイクスピア『ベニスの商人』は喜劇か? 悲劇か?
 - 敵役のセリフを書く実習
- など

◎坂手洋二の講座

- ・どんなものでも演劇になりうるということについて
 - ・ドキュメンタリー的な演劇の方法について
 - ・脚本家の笠原和夫の方法について
 - ・自作『推進派』について
 - 我々の「現在」はどこにあるのか
 - 取材について
 - 劇場は広場である
 - 舞台はライブである
 - ・脱ドラマについて
 - 演劇における「物語」とは
 - 最近の傾向について
 - ・新作『ALL UNDER THE WORLD』について
 - ・演劇の可能性について
- など

◎別役実の講座

- ・喜劇、コント概論
- ・コントを書くための方法について
- ・創作のための精神について
- ・セリフの書き方について
- ・コントの課題を出す。
 - 提出作品から何本か選び、それを読ませて講評する。
 - 提出作品すべてに講評を書いて返却する。
 - 書き直して再提出された作品にも講評すると予告。
- ・「局部感覚」について
- ・方言について
- ・言葉は音声であるということについて
など

◎長谷基弘の講座

- ・プロット実習講座
- ・演劇の構造と会話
 - 会話を書くことを疑似体験するエクササイズ
- ・プロット作成のエクササイズと講評
- ・グループに分かれてプロット創作をする実習
- ・テーマの掘り下げ方について
- ・伏線について
- ・ドラマリーディングの理論について
- ・ドラマリーディングを体験する
 - グループワークと発表
- など

◎故林広志の講座

- ・コントの方法
 - 笑いを作るために必要なこと
 - 弱者と被害者
 - 笑いを生む状況
 - 人物設定
- ・コントの課題を出し、提出作品を講評
など

◎集中講座(2日間)

○横内謙介のワークショップ

- ・座・高円寺の舞台を使って「舞台を体験するワークショップ」
 - 劇場が劇作家を作る
 - 舞台空間の特殊性について
 - ・舞台上で動いてみる、劇場感覚で考えてみる、など
 - 戯曲の文体と伝え方(演技スタイル)、劇場の関係についてなど

○長谷基弘のワークショップ

- ・「ことばから、ことばと身体を生み出す」
 - ことばを基点として、ひとつの場面をグループで創作するワークショップ
 - 身体からの発想で劇を作る
 - 劇作は個人作業だが稽古は集団作業であることを体験するなど

○「大震災と演劇」

対談:野田秀樹×別役実
司会:山口宏子

○「大震災と演劇」

「劇作家リレートーク ー起こったこと、思ったこと、伝えたいことー」
進行:鈴木聡、横内謙介
出席:いしいみちこ、ケラリーノ・サンドロヴィッチ、篠原久美子、佃典彦、土田英生、長塚圭史、マキノノゾミ、渡辺えり

◎丸尾聡の講座

- ・登場人物について
- ・人物の登退場(出ハケ)について
 - 情報とセリフ
- など

◎鴻上尚史の講座

- ・劇場に足を運んでもらうためには
- ・「いい作品」とは
 - 「表現」と「表出」
 - 多重層理論
- ・目的と障害について
- ・私の創作方法
- など

◎**マキノノブミ**の講座

- ・舞台と映像の違いについて
- ・お勧め戯曲あれこれ
- ・私の創作方法
- ・震災と劇作家の想像力について
など

◎**扇田昭彦**の講座

- ・1960年代～2010年、日本の戯曲はどう変化したか
 - 1960年代～70年代の小劇場運動が戯曲に与えた変化
 - 1960年代～2000年代、劇作の分野で起きたいくつかの変化
 - 1990年代以降の変化
- など

◎**佃典彦**の講座

- ・私の創作方法
- ・書き出すための3つの要素
- ・タイトルと作品世界について
- ・参考戯曲の読み合わせ(佃典彦『ランディおじさん』)
など

◎**平田オリザ**の講座

- ・優れた戯曲とは？
- ・登場人物について
- ・プロットについて
- ・エピソードについて
- ・設定を考える課題を出し、講評する
 - 「リアリティ」について
 - 「共同体」について
- ・自作『ソウル市民』五部作を語る
 - 私は、どういう作品を書きたいと思っているか
 - 『ソウル市民』(1989年初演)が生まれた背景
 - 現代口語演劇について
 - 植民地支配を描くことについて
 - 帰還兵の問題
- など

◎永井愛の講座

- ・映像と舞台は何が違うのか？
- ・どういう劇作家になりたいのか？
- ・行き詰まったときにどうするか？
→参考資料:永井愛『シングルマザーズ』の新作日記(抜粋)と、そこで採り上げられているシーンの登場人物の改訂前と改訂後それぞれのセリフなど

◎鐘下辰男の講座

- ・劇作家と観客の違いは何か？
- ・「表現」とは何か？
- ・「人間」を考えることについて
- ・「他者」に対応する方法について
など

◎ケラリーノ・サンドロヴィッチの講座

- ・私の創作方法
→人物相関図
→作風の変化
- ・「笑い」について
→ナンセンスコメディ
→間とセリフと関係の緩急
→別役実
など

◎青井陽治の講座

- ・ミュージカルにおける「時間」について
- ・実際のミュージカル作品で考える
→幕の構成、転換など
- ・ミュージカルのなりたちと今後
など

◎**竹内統一郎**の講座

- ・いい戯曲とは何か？
- ・構成をどう考えたらよいか？
→参考:『ワーニャ伯父さん』『かもめ』
- ・情報の差別化について
など

◎**松本修**の講座

- ・芝居をつくるときに戯曲は必要か？
- ・カフカの小説を舞台化してみる
- ・演出家として戯曲に求めるもの
- ・何を手がかりに戯曲のテキストを読むか
- ・戯曲の「窮屈さ」について
など

◎**西山水木**の講座

- ・発声、発語について
→トレーニングとコントロール
→日本語のセリフであること
→セリフの言葉を後ろからたどってみる
→セリフが伝わってこない理由
- ・「見えないもの、聞こえないもの、触っていないもの」を表現するために、俳優は身体の中でどのような作業をしているか
- ・観客が、俳優に共鳴・同調することについて
など

◎**川村毅**の講座

- ・「ポストドラマ」とは何か
→ハイナー・ミュラー、ベルナール＝マリ・コルテス、エルフリーデ・イエリネクなど
- ・不条理劇とポストドラマについて
- ・ポストドラマと複合意識(ポリフォニック)
→演出家の時代から劇作家の時代へ
など